

令和5年12月20日
千葉県農林総合研究センター長

I 向こう1か月の予報

発生量及び発生時期は平年との比較で表す。予想発生量は「多」「やや多」「並」「やや少」「少」で表している。また、予報の根拠の(+)は多発要因、(-)は少発要因であることを示す。並〔発生なし〕は平年並で、今年発生がないことを示す。

なお、「並」とは平年値を中心にして40%の度数に入る幅、「やや多」「やや少」は「並」の外側20%の度数に入る幅、「多」「少」は上記3者の外側10%の度数に入る幅である。

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
冬 春 キ ユ ウ リ	うどんこ病	少	12月上旬発生量：少(-) 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> 窒素肥料の多追肥を避ける。 発病初期から薬剤防除する。
	褐斑病	やや多	12月上旬発生量：やや多(+) 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> 除去した被害葉等は施設外へ持ち出し、適切に処分する。 発病初期から薬剤防除する。
	菌核病	並	12月上旬発生量：並〔発生なし〕 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> 発病果や発病葉は速やかに施設外へ持ち出し、適切に処分する。
	べと病	多	12月上旬発生量：多(+) 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> 下方の病葉は摘み取り、施設外へ持ち出し、適切に処分する。 発病初期から薬剤防除する。
	コナジラミ類	並	12月上旬発生量 オンシツコナジラミ： 並〔発生なし〕 タバココナジラミ： やや多(+) 12月黄色粘着トラップ誘殺数： やや少(-) 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> タバココナジラミはキュウリ退緑黄化病、オンシツコナジラミはキュウリ黄化病のウイルスを媒介するため、コナジラミ類の防除は重要である。 早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。 令和4年度病害虫発生予報第8号P4「これから注意を要する病害虫」も参照。

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
冬 春 ト マ ト	うどんこ病	多	12月上旬発生量：多（+） 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> 発病葉等は施設外へ持ち出し、適切に処分する。 発病初期から薬剤防除する。
	灰色かび病	並	12月上旬発生量 果実発病度：並 [発生なし] 発病株率：並 [発生なし] 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の換気を良くし、湿度をできるだけ下げる。 発病果や発病茎葉は施設外へ持ち出し、適切に処分する。 令和3年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」も参照。
	オンシツコナジラミ	並	12月上旬発生量：並 [発生なし] 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> 黄色粘着トラップの設置等で発生を的確に把握し、発生初期から薬剤防除する。 タバココナジラミは、黄化葉巻病を媒介する。黄化葉巻病発病株は抜き取り、適切に処分する。
	タバココナジラミ	多	12月上旬発生量：多（+） 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> 施設内外の除草や防虫網の設置など耕種的・物理的防除に努める。 令和5年度病害虫発生予察注意報第2号「トマト黄化葉巻病の発生に注意」も参照。
	黄化葉巻病	多	12月上旬発生量：多（+） タバココナジラミ 12月上旬発生量：多（+） 12月予想発生量：多（+）	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度病害虫発生予報第8号P4「これから注意を要する病害虫」も参照。
キ ャ ベ ツ	菌核病	並	12月上旬発生量： 冬キャベツ：並 [発生なし] 春キャベツ：並 [発生なし] 気象予報：気温並 降水量並	<ul style="list-style-type: none"> 発病株は速やかに抜き取ってほ場外へ持ち出し、適切に処分する。 薬剤防除は、株元まで薬剤が到達するように、ていねいに行う。
	黒腐病	並	12月上旬発生量： 冬キャベツ：並 春キャベツ：並 [発生なし] 気象予報：気温並 降水量並	<ul style="list-style-type: none"> 病原菌は葉先の水孔や傷口から侵入しやすいので、既発ほ場では風雨後の防除に努める。

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
秋 冬 ネ ギ	さび病	並	12月上旬発生量：並 [発生なし] 気象予報：気温並 降水量並	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤防除する場合は、収穫前使用日数に注意する。
	べと病	並	12月上旬発生量：並 [発生なし] 気象予報：気温並 日照時間並 降水量並	
	ネギアザミウマ	並	12月上旬発生量 被害度：やや少（－） 寄生株率：並 気象予報：気温並 降水量並	
レ タ ス	灰色かび病	並	12月上旬発生量：並 [発生なし] 気象予報：気温並 降水量並	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発病株は速やかに抜き取りほ場外に持ち出し適切に処分する。 ・ トンネル内が過湿にならないようにする。 ・ 灰色かび病は令和3年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」も参照。
	菌核病	並	12月上旬発生量：並 [発生なし] 気象予報：気温並 降水量並	
イ チ ゴ	うどんこ病	やや少	12月上旬発生量：やや少（－） 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> ・ 葉かき作業を適宜行い、切除部位を適切に処分する。 ・ 発病初期から薬剤防除する。 ・ 早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。 ・ 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。 ・ 葉かき作業を適宜行い、切除部位を適切に処分する。 ・ 早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。 ・ 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
	アブラムシ類	やや多	12月上旬発生量：並 11月黄色粘着トラップ誘殺数： やや多（＋） 気象予報：日照時間並	
	ハダニ類	やや少	12月上旬発生量：やや少（－） 気象予報：日照時間並	

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
温州ミカン	ミカンハダニ	多	11月下旬発生量：多（+） 気象予報：気温並 降水量並	<ul style="list-style-type: none"> マシン油乳剤による越冬期防除を行う。ただし、樹勢の弱い樹では散布を避ける。 寒害を受けやすい園地や着花量の少ない園地では、4～5月にマシン油乳剤を散布する。
カーネーション	アザミウマ類	やや多	11月下旬発生量：並 11月黄色粘着トラップ誘殺数：やや多（+） 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> 施設内外の雑草や花がらは適切に処分し、ほ場周辺に放置しない。
	ハダニ類	やや少	11月下旬発生量：やや少（-） 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> 早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。
ストック	菌核病	並	11月下旬発生量 施設ストック：並 [発生なし] 露地ストック：並 [発生なし] 前作発生量（2月下旬） 施設ストック：並 [発生なし] 露地ストック：並 [発生なし] 気象予報：気温並 日照時間並 降水量並	<ul style="list-style-type: none"> 発病株は速やかに抜き取ってほ場外に持ち出し、適切に処分する。 施設栽培では過湿にならないよう注意する。
野菜・花き共通	コナガ	並	11月下旬発生量 施設ストック：並 露地ストック：並 12月上旬発生量 冬キャベツ：並 春キャベツ：並 11月フェロモントラップ誘殺数：やや少（-） 気象予報：気温並 降水量並	<ul style="list-style-type: none"> 早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。

参考資料

○主要病害虫の発生状況

巡回調査結果（野菜：12月上旬、果樹・花き：11月下旬）

作物名 (調査地域)	病害虫名	調査項目	調査結果			備考
			今年値	平年値	前年値	
冬春キュウリ (山武)	うどんこ病	発病葉率 (%)	3.80	12.69	7.40	頭/30日
	褐斑病	発病葉率 (%)	0.20	0.28	0.20	
	菌核病	果実発病度	0.00	0.66	0.00	
	灰色かび病	果実発病度	0.00	0.20	0.00	
	〃	発病株率 (%)	0.00	0.50	0.80	
	べと病	発病葉率 (%)	16.60	6.38	3.40	
	ワタヘリクロナメイガ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	オンシツコナジラミ	成虫寄生株率 (%)	0.00	1.30	0.80	
	タバココナジラミ	成虫寄生株率 (%)	0.80	0.40	0.80	
	コナジラミ類	黄色粘着トラップ誘殺数	8.73	24.25	10.44	
	アザミウマ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.20	0.00	
ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.10	0.00		
冬春トマト (長生、海匠)	うどんこ病	発病株率 (%)	8.00	1.56	3.60	
	灰色かび病	発病株率 (%)	0.00	0.12	0.80	
	〃	果実発病度	0.00	0.04	0.40	
	すすかび病	発病株率 (%)	0.00	0.20	0.00	
	黄化葉巻病	発病株率 (%)	0.90	0.10	0.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.04	0.00	
	オンシツコナジラミ	成虫寄生株率 (%)	0.00	0.04	0.00	
	タバココナジラミ	成虫寄生株率 (%)	0.80	0.08	0.40	
	ハモグリバエ類	幼虫寄生株率 (%)	1.20	0.44	0.40	
アザミウマ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.80	0.04	0.00		
冬キャベツ (海匠)	菌核病	発病株率 (%)	0.00	0.80	0.00	
	黒腐病	発病度	0.40	1.79	2.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	3.20	0.88	0.00	
	コナガ	10株当たり寄生幼虫蛹数	0.08	0.22	0.00	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	タマナギンウワバ	10株当たり寄生幼虫数	0.16	0.05	0.08	
春キャベツ (海匠)	菌核病	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	黒腐病	発病度	0.00	0.09	0.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.80	2.16	4.00	
	コナガ	10株当たり寄生幼虫蛹数	0.08	0.08	0.00	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
秋冬ネギ (長生、山武)	黒斑病	発病度	0.00	3.86	1.56	
	さび病	発病度	0.00	0.39	0.00	
	べと病	発病株率 (%)	0.00	0.32	0.00	
	ネギアザミウマ	被害度	14.13	22.77	17.56	
	〃	成幼虫寄生株率 (%)	36.50	36.38	21.78	
	ネギアブラムシ	成幼虫寄生株率 (%)	1.50	0.49	0.44	
	ハスモンヨトウ	被害株率 (%)	0.00	0.16	0.00	
	シロイチモジヨトウ	被害株率 (%)	4.50	0.24	0.00	
	ネギコガ	被害株率 (%)	0.00	0.17	0.00	
	ネギハモグリバエ	被害度	1.00	1.54	5.67	
レタス (安房、君津)	灰色かび病	発病株率 (%)	0.00	0.16	0.00	
	菌核病	発病株率 (%)	0.00	0.28	0.00	
	モザイク病	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	斑点細菌病	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	ネキリムシ類	被害株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.80	0.20	0.00	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
イチゴ (山武、海匠、安房)	うどんこ病	発病株率 (%)	1.75	3.73	2.12	
	灰色かび病	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	3.50	3.84	3.29	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.74	0.00	
	ハダニ類	雌成虫寄生株率 (%)	6.50	16.62	4.94	
温州ミカン (安房)	ヤノネカイガラムシ	成幼虫寄生葉率 (%)	0.00	0.08	0.00	
	ミカンハダニ	雌成虫寄生葉率 (%)	43.40	6.00	0.00	
	クワゴマダラヒトリ	被害果率 (%)	0.00	0.00	0.00	

作物名 (調査地域)	病害虫名	調査項目	調査結果			備考
			本年値	平年値	前年値	
カーネーション (安房)	萎凋症	発病株率 (%)	0.00	0.56	0.00	頭/30日
	立枯病	発病株率 (%)	0.00	0.32	0.00	
	アザミウマ類	被害株率 (%)	12.00	16.20	0.00	
	〃	黄色粘着トラップ誘殺数	9.10	4.22	2.22	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.08	0.00	
	〃	黄色粘着トラップ誘殺数	25.55	32.99	12.00	
	ハダニ類	雌成虫寄生株率 (%)	0.00	5.12	0.00	
	シロイチモジヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
ヨトウムシ類	被害株率 (%)	0.00	1.02	0.00	頭/30日	
ストック (安房)	菌核病 (施設)	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	菌核病 (露地)	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	萎凋病 (施設)	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	萎凋病 (露地)	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	コナガ (施設)	被害株率 (%)	2.40	3.78	0.00	
	〃	幼虫寄生株率 (%)	0.80	0.90	0.00	
	コナガ (露地)	被害株率 (%)	15.20	11.32	0.00	
	〃	幼虫寄生株率 (%)	4.80	3.27	0.00	
	アブラムシ類 (施設)	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	アブラムシ類 (露地)	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	4.74	0.00	

トラップ月間誘殺数 (11月)

区分	調査害虫名	トラップ設置場所	誘殺数 (頭/日)			備考
			本年値	平年値	前年値	
性フェロモン	コナガ	海匠、安房	0.5	2.0	0.7	
	ハスモンヨトウ	県内全域	34.1	20.5	14.7	
	シロイチモジヨトウ	〃	1.7	0.4	0.5	
	オオタバコガ	〃	3.2	1.3	3.1	
	タバコガ	〃	0.1	0.1	0.2	

○気象予報

12月14日気象庁発表

関東甲信地方における向こう1か月間の確率(%)

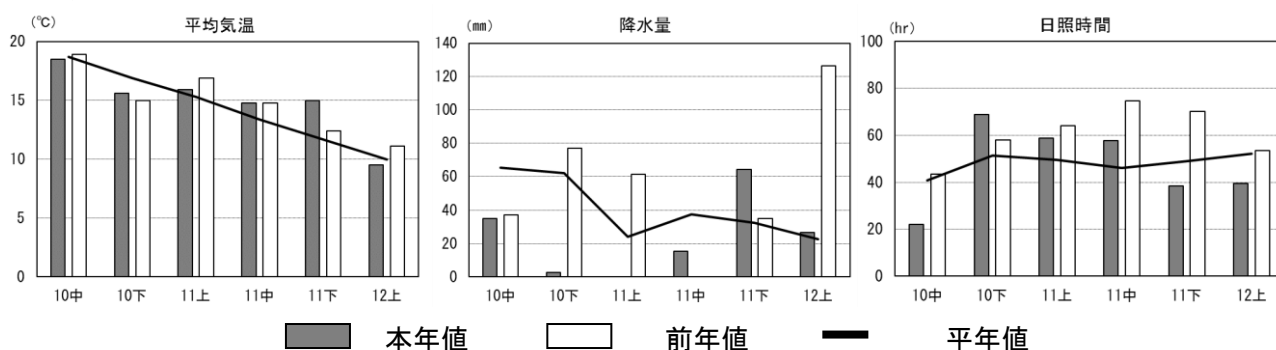
要素	低い・少ない	平年並	高い・多い
気温	30	30	40
降水量	30	30	40
日照時間	40	30	30

出典：気象庁ホームページ

向こう1か月間の各気象要素の平年値

(12月16日～1月15日)

要素	千葉	銚子	館山
気温(°C)	7.0	7.6	7.3
降水量(mm)	52.4	83.6	81.0
日照時間(hr)	188.6	177.3	175.1



農薬は適正に使用しましょう。無登録農薬の使用はできません。

- 農薬は、農薬取締法に基づいて、使用できる農作物の種類、適用病害虫、希釈倍数、収穫前使用日数、総使用回数などが定められています。
- 登録番号のない薬剤は、農薬として使用できません。登録農薬には必ず登録番号が記載されています(記載例 農林水産省登録第〇〇〇号)。
- 農薬はラベルをよく読んで適正に使用しましょう。
- 飛散しないよう工夫して散布しましょう。
- 農薬を散布したら必ず記帳するようにしましょう。
- タンクやホースは洗いもれがないようきれいに洗っておきましょう。

- ・ 病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/>
- ・ 次回の発行予定は1月18日です。なお、注意報等の臨時情報は逐次発行されます。
- ・ 薬剤の選定については、最新の農薬登録情報を確認してください。
<https://pesticide.maff.go.jp/>



問合せ先

千葉県農林総合研究センター病害虫防除課

〒266-0014 千葉市緑区大金沢町180番地1

TEL 043(291)6077 FAX 043(226)9107

E-mail cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp